



◆議員活動を通しての実現事項のご報告

実現! 市内4つの小学校(1, 2, 8, 9小)で令和8年4月から保護者がスマホでキャッシュレスで学校集金を決済できるサービス「スクペイ」がスタート! 他小学校も年内導入を目指して調整中です!

- ・保護者の子育て環境の改善、負担軽減、子育て世代の応援
・先生の働き方改革、負担軽減、本来の教育業務に専念できる環境の整備

保護者がわざわざ現金を用意する負担の軽減、低学年生が現金集金袋を扱うリスクの低減、など多くのメリットがあります。

教育現場では、集金業務のために、集金袋を用意し、現金を受け取り、管理し、保護者への確認や帳簿記入等の対応、その後の出納管理業務、業者への支払い業務など、教職員が集金管理業務で圧迫されている実態が改善できます。



私は集金業務をデジタル化することで学校側・保護者側双方の負担を軽減できる、小中学校等向けの集金サービス「スクペイ」に着目していました。

経緯は令和6年6月からスクペイ社長と打ち合わせを始め、近隣小学校にて感触を確認。教育指導課に情報提供をしながら議会一般質問において進捗を確認。

途中、タブレット端末保険料の削減の一手としてスクペイの活用もプッシュしましたがこちらのコラボ案は実現しませんでした。令和7年4月から市内小中学校の約1万名のタブレット端末補償制度の保険料10%削減の実現に貢献していました。

その後も継続的にプッシュしており、この度の実現となりました。ビジネスの世界で培った経験・ノウハウをしっかりと市政に注いでまいります。提案も一過性で終わるのではなく、しつこく食らいついた成果とも考えており、引き続き、しつこく頑張っております。また、導入検討にあたり、ご尽力いただきました教育指導課の皆様、学校関係者の皆様、誠にありがとうございました。

実現! 朝霞市子育て支援アプリ「ぼぼるん」が利用開始!

令和6年12月議会において子育て支援アプリの導入を提言し、令和7年度中に予算がつき、実際の運用に向け担当課が動いており、このたび、令和8年1月23日から母子手帳と連携し予防接種、成長記録、育児情報など妊娠から出産、育児までをフルサポートするアプリ「母子モ」の利用が開始されました。朝霞市では「ぼぼるん」という愛称で利用されます。行政サービスの効率化、職員の負担軽減にも有効です。ITテクノロジーの積極的活用にも力を入れてまいります。



実現! 朝霞市内での公園内禁煙に向けた実証実験がスタート!

令和7年3月議会において公園内禁煙に向けた実証実験をすべきと提言し、令和8年3月9日から約1年間、実証実験がスタートしました。これは私が駅立の際に市民の方からいただいたお声を基に調査を進め、隣市の戸田市で既に同様の実証実験がスタートしており、こちらの先行事例を参考にしてはとプッシュした次第です。全面禁煙となるのは、市が管理する公園、児童遊園地、朝霞の森です。引き続き、市民の声を現場で聞いて市政につないでまいります。

◆令和8年3月議会での私の一般質問(抜粋)

◇小中学校の「学校予算」の現状と課題について

学校現場から「学校予算が足りない」というお声をよく聞いていましたので「学校予算」について質疑。調べますと、令和6年度は小学校は6314万円、中学校は4721万円に比し、令和7年度は小学校は4462万円、中学校は3364万円でした。減少の主因は統合型校務支援システムの導入とこのこと導入による用紙の削減等も見込まれるとのこと。物価上昇や老朽化する施設の維持管理費の増加、教育の質の確保という点からも学校予算の増額を視野に入れた予算編成を行うよう要望いたしました。

◇道路・歩道の改良予算の現状と課題について

駅立にて、歩道の整備状況、特に途中で突然歩道が途切れてしまう「プツン歩道」についてご意見を数多く頂いています。現状の予算規模や工事状況が適正か質しながら、あらためて「歩道の分断」や「連続性の欠如」改善のために予算を増額し、リアルな改善が進むよう要望いたしました。





### ◇議員への職員へのハラスメントについて

令和7年に実施された「職員向けのハラスメントの実態調査のためのアンケート」において、議員から職員向けのハラスメントが10件ある、という調査結果が判明しました。アンケート結果の概要を質するとともに、ハラスメントの詳細調査をするために第三者委員会等の設置をしてはどうかと提案。また、アンケート結果を踏まえて今後、市としてどのような取り組みをとるのか質しながら、毅然とした対応を取るように要望いたしました。

私は以下の事例、①議案調査・答弁調整においてダラダラと実施したり、不必要に長時間にわたり複数の職員を拘束したり、打合せにきた職員を長時間廊下で待たせたりすること、②市に決定権がない事項に対して、実効性がないにも関わらず、不必要に執拗に要求し続ける、ことなどはハラスメントにあたる、もしくは社会常識からかけ離れている行動と考えており、改善に向けて動いてまいります。

### ◆議会改革の動き

朝霞市議会の令和7年の総括質疑の終了時刻が9月が午前2時9分、3月も日付をまたいでいます。これは22名の議員が「時間」と「回数」の制約なく質疑するために起こる現象です。本来、議会は17時終了であるべきです。

議員だけであれば気にもしません、問題なのは議場内で答弁する職員が約20名超、議場外で答弁を支援する職員が30~50名ほど張りついており、職員の負担が常軌を逸しているという状況です。帰宅困難を超え帰宅不可の職員も多く、翌日の勤務やご家族へも多大な負荷がかかっています。私はこの状況は看過できない問題と考えています。当然、市職員にこれだけ負荷をかける議会運営を市民も望んでもいないでしょう。

議員の大多数も問題意識をもっており、議会改革分科会を2つ立ち上げ改革に取り組んでいます。議員間の決めごとが「全員一致」という方法のため一部議員の反対により何も決まらない状況に歯がゆい思いをしていましたが、3月議会開会直前に、「議案に対する質疑の発言時間を1人30分」とすることが暫定合意されました。私は、「制限時間を設け、制限時間は1人10分以内」を提案しておりましたがこの度は合意を優先いたしました。

実際の3月議会の動きとしては、単日で収まらず、2日に分けて実施されました。本来、1日で終わるはずが2日に渡ったことで市職員への負担も増しています。仮に1日で実施した場合の終了時刻は20:00でした。

私の改革案はシンプルでして、その根拠として  $420分(一日の稼働時間) \div 22(議員数) = @19分$  な訳です。総括質疑が1日で終わらない同じ規模感の自治体というのは極めて稀なケースです。究極的には議員間の決まりごとの決定方法を「全員一致」から「多数決方式」に変更すべきと考えています。

本事象について、このような状況になっている、という事実だけでも市民に伝える必要があると思い、ここに記させていただきました。もろもろのご参考になりましたら幸いです。引き続き、議会改革に尽力してまいります。

### かねもと なおまさ の 地域活動 (抜粋)



**兼本 尚昌** 防衛大学校/国際関係論卒。米国大統領を5名輩出のD&B社(当時、格付会社Moody'sの親会社)やITコンサルのGartner社を経て、自ら起業し13年間、代表取締役として活躍。著書2冊。平行して14年間の看護、自宅同居介護を経験。(義父/要介護5、義母/要介護4認知症)。市議会議員職のみに専念中(朝霞市全域型 無所属・無会派)

**#もっともっとかねもと #あさかチャレンジ SNSでほぼ毎日情報発信中!**  
 「ご相談・お問い合わせ・応援したい!」はこちらまで [kanemotonaomasa+info2023@gmail.com](mailto:kanemotonaomasa+info2023@gmail.com)  
**かねもと なおまさ事務所** 351-0011 朝霞市 本町 2-2-40 1402号 【議会報告・討議資料】

